

このページはボランティアの市民の方が取材・作成しています

# すっごいぞ!あま市

## 甚目寺編 VOL.1



4月18日(水)甚目寺観音の西隣にある漆部神社<sup>ぬりべじんじや</sup>で行われた『春の大祭』に参加しました。甚目寺と言えば甚目寺観音が有名ですが、甚目寺観音の西隣に漆部神社はあります。

神社で配布している由来書によると、日本にある漆塗<sup>うるしぬり</sup>に関する古い神社としては2か所あり、新潟県村上市の漆山神社(漆の樹の守護神)に対し、漆部<sup>むらかみ</sup>神社の「漆部」とは、漆を栽培し採取し、それによって漆器具<sup>しつきぐ</sup>を製作するまでの総称なので、漆器<sup>しつき</sup>や塗料の技術並びに漆工芸の作製に関するすべての守護神と言えるそうです。また、平安朝の中期(1090年程前)、醍醐天皇<sup>たいごてんのう</sup>の時代の文献、延喜式神名帳内に漆部神社の記載があるそうです。

「すっご〜い!」

神社で毎年行われている『春の大祭』(4月18日)と『秋の大祭』(10月18日)は、それぞれ午前10時から神事が<sup>おごそ</sup>厳かに始まり、旧大字甚目寺区の各町内会の方々の親睦の場にもなっています。



歴史の継承は、何かとご苦労が多いと思われませんが、氏子総代<sup>うじこそうだい</sup>(神社のお世話係)の皆様や町内会の力で末永く受け継がれる文化となることを願います。



■編集後記■ 平成30年度、町内会長をしています。旧大字甚目寺区の町内会加入率は35%! 防犯灯の修理、LEDへの改修、電気代などは町内会費から支払われています。

年々町内会を脱会される方が増えている現状がありますが、防災・防犯の観点からも今こそ、地域力が重要です。ご一緒に笑顔であいさつできる明るい街を目指しませんか?

(by市民記者 あみゆ)

